

# 週報

## 2012年題 「主を仰いで進もう」

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。  
あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き /  
砂漠に大河を流れさせる。 イザヤ43:19



### 東福山福音ルーテル教会

〒721-0913 福山市幕山台8-13-10

責任牧師 佃 博文 Tel(Fax) : 086-273-9053

宣教師 L.シグルソン Tel(Fax) : 084-947-6602

URL <http://fukuyama.sekl.fi>

週報編集担当 Mail [fukuyamachurch@hotmail.com](mailto:fukuyamachurch@hotmail.com)

#### 今週の集会案内

5/14 (月)	引野小セレモニー出演	PM 2:00
5/15 (火)	シャローム練習	AM 10:00
	「ひよし」慰問演奏	PM 1:30
	ハンナゴスペル	PM 7:00
5/16 (水)	聖研祈禱会	PM 7:30
5/17 (木)	オカリナ講座交流会	AM 9:30
5/18 (金)	ハンナゴスペル	AM 10:30
5/20 (日)	ジーラブ	AM 9:00
	聖日礼拝	AM 10:30

2012/5/13 礼拝式	
復活後第5主日	
司 会：渡辺章子 姉 奏 楽：荒井千恵子 姉	
礼拝当番：赤木久敬 兄	
前 奏	
讃 美 (起立)	5月の歌「聖歌521# 「キリストにはかえられません」
交 読 文 (起立)	交読文：詩篇23篇 (最終節は一同) (旧 P. 854)：新共同訳聖書を1節ずつ交読
祈 禱	
讃 美	1 1
使徒信条 (起立)	
聖書朗読	ヨハネ4：1～12 新約(P.445)
讃 美 (起立)	2 2 5
説 教	ヨハネ 15：11～17 新約(P.199) 「神の愛に包まれて」 小堀幹雄長老(東岡山教会)
聖 餐 式	
讃 美	5 2 7
感謝献金	赤木久敬 兄
祝 禱	5 4 1
報 告	
特別予定	
聖書のページ数の表示は新共同訳。(新改訳は表示より5～6ページ前になる) 新共同訳聖書をお持ちでない方は、教会に備え付けのものがありません。	

ジーラブ司会：渡辺章子 姉 説教：青戸尚美 姉

==主の祈り==

天にまします我らの父よ。

願わくは御名をあげさせたまえ。御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもならせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを、我らが許すごとく、

我らの罪をも許したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり。

== 使徒信条 ==

我は天地の創り主、父なる全能の神を信ず。  
我はそのひとり子、我らの主イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、乙女マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに  
苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、よみにくだり、三日目によみがえり、天に昇り、父なる全能の神の右に座したまえり。  
生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再び来たりたまわん。  
我は聖霊を信ず。また聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪の赦し、身体のみがえり、限りなき生命を信ず。アーメン。

先週の献金報告 5月 6日

礼拝献金	9,250	特別献金	2,000
維持献金	27,000	設備献金	7,500
特別事業	5,500	光熱費	700
		総 額	51,950

先週の集会報告 5月 6日週

- 5/6 聖日礼拝 大人 16名 小人 5名  
5/8 シャローム 練習日 7名 オカリナ講座 6名  
ハンナ・ゴスペル 11名  
5/9 料理の会 休会 聖研祈祷会 1名  
5/11 ハンナ・ゴスペル 16名  
5/12 備後イースターフェスティバル 集会報告にて

次週の礼拝案内 5月 20日(日)

交読文:詩篇110篇 全  
賛美歌 5月の歌(聖歌521# :キリストには変えられません)、  
9、158、164、542  
聖書 エフェソ 1:15~23  
ルカ 24:44~53  
「天の証人」 L・シングルソン師

次週の礼拝当番 5月 20日(日)

説教:L・シングルソン師  
司会:佐藤英子 姉 奏楽:渡部光子 姉  
礼拝当番:小林恵子 姉 清掃:渡辺章子 姉、赤木久敬 兄  
ジープ司会:青戸尚美 姉 ジープ説教:渡辺章子 姉  
5月の週報担当:小林秀穂 兄

【報告】

- 1 本日のメッセージは東岡山教会の小堀幹雄長老に取りついで頂きました。  
お忙しい中、この為にご準備して下さい、ありがとうございました。  
2 5/12(土)PM2:00~リーデンローズ 小ホール:備後イースターフェスティバル  
2012'が行われました。講師:藤井圭子師 ハンナ・ゴスペルの皆さん出演  
参加者にて、簡単なレポート並びに、感想等をお願いします。  
3 5/27(日)PM3:00~池上真祈師の香港マカオルーテル教会へ宣教師壮行会  
が青谷教会で行われます。  
4 5/16(水)PM2:00頃、CLC移動販売車が来ます。  
5 5/17(木)オカリナ講座の皆さんを中心にして、親善交流会行う予定です。  
行先:向島運動公園、神勝寺温泉を予定。  
6 5/20(日)「パロック音楽の楽しみ」のコンサートPM2:00~リーデンローズ  
全席自由(@2,000) 注:4/20風音の会フルート・コンサート(小林より)購入頂いた  
方には、今回ご招待としていますので、スケジュールご確認ください。  
7 歳時記:今日は「母の日」..お母さん方へ日頃の感謝を覚えましょう!  
\*\*Column\*\* 【母の日にちなんで..】

母の日の由来

母の日を祝う行事の誕生は、はるか古代にさかのぼります。さまざまな説があり、ギリシャ時代、春になるとシアという“神々の母”といわれる女性の神様をたたえる祭りが行われていたという説などがあります。現在のように母の日が行われるようになったのは、20世紀初頭のアメリカで母親思いの女性が起こした行動がきっかけでした。

アンナ、ジャーヴィス(Anna M Jarvis)という女性が、自分を苦労して育ててくれた母親の命日に追悼の意を表し、フィラデルフィアの教会で「亡き母をしのぶ」という花言葉の白いカーネーションを霊前にたくさんたむけ、母親を偲んだというのです。このことが参列者に大きな感動を与え、全米へと広がっていきました。これを期に、アンナは支援者と共に母に感謝の気持ちを捧げる休日を作るよう、議会に呼びかけました。やがてその声は大統領にまで届き、1914年のアメリカ議会では、5月の第2日曜日を「母の日」と定め、国旗を掲げてお母さんに感謝の意を示すことになったのです。



こうして、「母の日」は世界中へと広がっていきました。日本に母の日が伝わったのは、大正時代、当時青山学院の教授だったアレクサンダー女史により紹介され、キリスト教関係の団体が中心になってこれを広めました。昭和に入り、3月6日の皇后誕生日が母の日となりましたが、戦後、本家にあわせて現在のかたちになりました。当時、母性愛を表すカーネーションの赤い花は母が健在なる人、母が亡くなられた人は白い花を胸に飾り、母への感謝の意を表わしましたが、業界の提唱もあって次第に母に花を贈るというスタイルになっていきました。

インターネット:イイハナ・ドットコムから引用して掲載しました。